

無痛分娩 麻酔手順マニュアル（CSEA 法・硬膜外単独法）

1. 麻酔前準備

患者情報の確認

- 電子カルテより周産期麻酔外来の受診歴の確認
- 「分娩前サマリー」の確認
- 麻酔施行直前（前日）の血液データ（赤血球、血小板、凝固系）の確認
- 同意書の確認

2. 麻酔準備物品（共通）

患者情報の確認麻酔準備物品

- 緊急カート（薬剤、ジャクソンリース、酸素配管の確認）
- 麻酔用薬剤カート（患者ごと）
- CSEA キット（針・カテーテル含む）
- PCEA ポンプ、接続チューブ等
- PCEA 内容薬液：ロピバカイン 0.08%・フェンタニル 2 μ g/ml

3 麻酔手順

共通項目

1. モニター装着（NIBP、SpO₂、CTG）、末梢静脈確保されていること確認
2. 体位：右側臥位または坐位
3. 手指消毒・装備：アルコールジェル、手袋、マスク、帽子、ガウン
4. 必要に応じ背部穿刺前に超音波を用いて脊椎スクリーニング施行

A. CSEA 法 (Combined Spinal-Epidural Anesthesia)

1. オラネジンで消毒（乾燥 50 秒以上）
2. シリンジに症例に応じた麻酔薬液（脊髄くも膜下麻酔）を準備
3. 1%リドカインで背部の局所浸潤麻酔
4. L3/4 で穿刺 → くも膜下麻酔投与 → 硬膜外カテーテル留置
5. 硬膜外カテーテルからテストドーズとして 1%リドカイン 3ml を投与
6. カテーテルをテープで固定、左側臥位へ体位変換
7. 母体・胎児状態確認後、PCEA 開始（最初のボーラスは必ず麻酔科医が確認）
8. 以降、非観血的自動血圧測定を 15 分毎、CTG と SpO₂ を持続モニター

B. 硬膜外麻酔単独法

1. オラネジンで消毒（乾燥 50 秒以上）
2. 1%リドカインで背部の局所浸潤麻酔
3. L3/4 穿刺 → Epidural または DPE technique → 硬膜外カテーテル留置
4. テストドーズで確認後、PCEA よりボーラス投与開始
5. 5 分後バイタルチェック、必要に応じて追加ボーラス（5ml×2-3 回）
6. 必要に応じて、フェンタニル 50μg 追加
7. 15～30 分後、麻酔レベル・鎮痛効果を確認し、PCEA 開始

4. 経過観察・記録

- ・ モニター：CTG, SpO₂ 持続, 自動血圧測定 15 分毎
- ・ 回診は原則 1 時間毎に以下の内容を観察し記録
 - － 母体バイタル
 - － 胎児心拍数, 鎮痛効果 (NRS)
 - － 麻酔効果範囲 (コールドテスト)
 - － 運動神経ブロックの程度 (Bromage scale)
 - － PCEA 投与量
 - － 子宮収縮剤投与量
- ・ 部門システム (電子カルテ内) に記録

5. 分娩・分娩後管理

- ・ 分娩時：原則立ち会い
- ・ 分娩後 2 時間以降で出血等問題なければ、硬膜外カテーテルを抜去
- ・ 分娩後回診（翌日以降）で合併症の有無（PDPH 含む）や満足度を確認
- ・ 「無痛分娩アンケート」と必要症例には「PDPH チェックリスト」使用

2025 年 4 月 1 日